

地域の拠点としての児童館

すべての年代が利用する児童館を目指します。

安心安全な居場所

- ・いつでも来られる場所
  - ・だれかがいる場所
  - ・相談できる場所 など
- 子どもがひとりできても、安心して過ごせる場所を作ります。



かのう児童センター

様々な体験ができる場

「STEAM教育」を取り入れた「文化芸術体験」「スポーツ体験」の提供。

「造型作家館長」「ミュージシャン館長」の採用

子どもの最善の利益

「子育て支援の拠点」として、

- ・子育て親子の交流促進
- ・遊びや子育てに関する講座
- ・子育ての相談・援助
- ・情報収集及び発信

子育て支援の充実

子育てしやすい環境を作ります。



田野児童センター

地域・学校・団体・専門家等と連携をとり、〈見守り〉〈交流〉を深めます。

「地域に開けた児童館」を目指し、たくさんの人が交流する場を作ります。

地域・団体等の連携

「第二期宮崎市子ども・子育てプラン」に掲げるSDGsとの一体的な取組



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちは「『誰一人取り残さない』持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」という理念に共感し次の目標について取り組んでいきます。

〈当団体職員が委嘱を受けた役職〉

- ・宮崎市子ども・子育て会議 副会長
  - ・宮崎市民活動センター評価委員
  - ・宮崎市男女共同参画社会づくり推進審議会委員
- など、様々な分野で活動している中で、最新の情報やニーズをしっかりと把握しながら、児童センターの運営に反映していきたいと思えます。

子どもの権利条約第3条にある「子どもの最善の利益」及び31条「子どもが文化的及び芸術的な生活に十分に参加する権利を尊重」の理念に沿って、地域の活動団体や市民と連携を図りながら、1人ひとりの「子どもの育ち」に関心を持ち子どもとおとなが共に育ちあう場を作る、これが私たちの理念です。

今まで培ってきた経験やノウハウを最大限に生かし、SDGsの理念を含めて、最大の目標である「すべての年代が利用する児童館」を常に意識しながら、職員一同力を合わせて取り組んでいきます。

文化芸術体験のこだわり「ホンモノに触れる」

20 年間「文化芸術体験」にこだわり、約 300 万人近い子どもたちや大人へこの体験の機会を提供してきました。私たちが蓄積した体験のノウハウと講師となるアーティストとのつながりを存分に生かし、STEAM 教育を取り入れながら様々な年代の子どもたち、大人に合わせた体験活動を実施していきます。(添付資料1)

教育現場に「プログラミング」の授業が入ってきます。これは、ただ単に技術を学ぶものではありません。「プログラミング」による「思考力・判断力・表現力」を展開できる「プログラミング的思考」を育むことです。そこに必要なのが「アートの思考」です。



この「アートの思考」を育むため様々なアーティストと出会い、「創造すること」「発想の転換」「幅広い表現」を遊びながら身につけて欲しいと思います。



ミュージシャンによる音楽ワークショップ



アーティストによるものづくりワークショップ



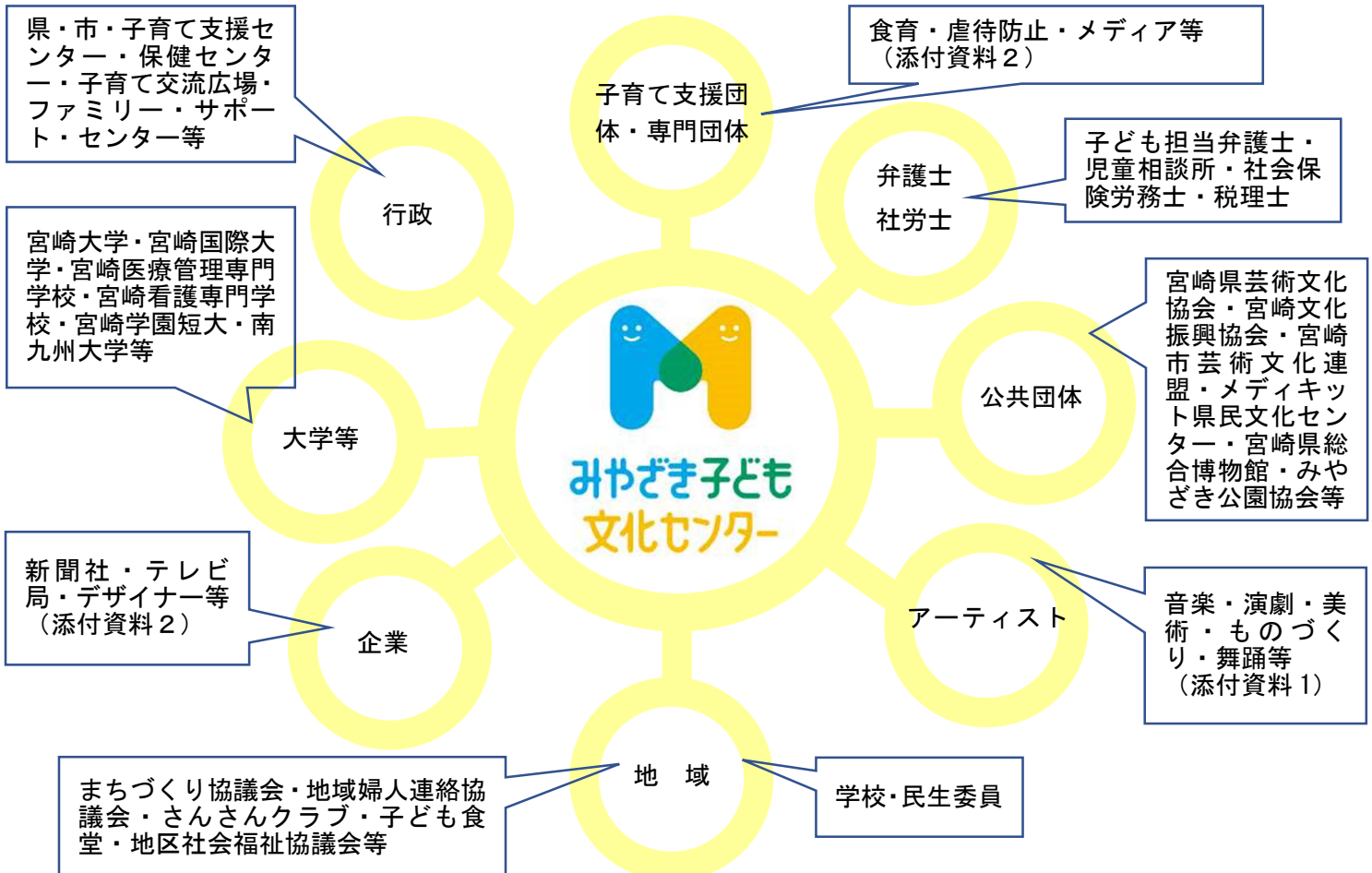
地域の人たちと一緒にクリスマス会



地域の方たちによる講座



文化芸術及び子育てに関するネットワーク



## 中高生の居場所づくり

### 【ヒーローセミナー養成講座の開講】

赤ちゃんの発達や成長に必要なことを知ることで、思春期の中にある中高生たちにとって、どのように大切に育てられてきたかを知るいい機会になると思います。

また、これをきっかけに児童センターへ足を運び、居心地の良い場所となればと思います。さらに、ジュニアリーダーとして各イベントへの参加を促し、地域と子どもをつなぐ一員になってくれることを願います。



### 【音楽や演劇との出会い】

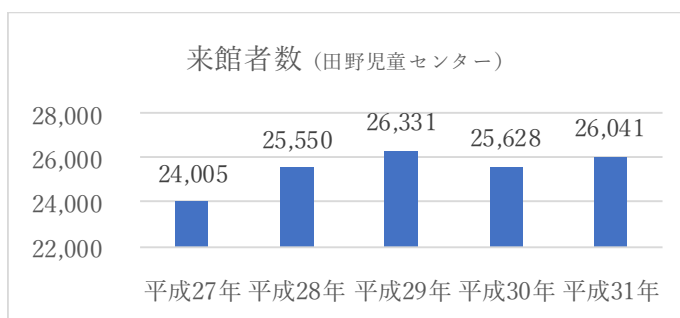
小学生への体験はもちろんのこと、中高生に合わせた時間帯(例:土曜日午後)に「楽器体験」や「ミュージシャン／俳優との出会い」を作り、特別な居場所となるよう中高生に特化した事業を企画していきます。

## 目標来館者数：20,000人(かのう)・27,000人(田野)

田野児童センターの実績でいくと、毎年少しずつではありますが、来館者数が増加しています。

これは、多種多様な企画、また子どもとスタッフの信頼関係の構築、また地域との連携が上昇していることだと考えます。

今後、かのう児童センターも含め、「すべての年代が利用する児童館」を目指して、新しい事業を取り入れながら企画・運営していきます。



## 人件費は「手厚く」 事業費・管理費は「縮減」

### 【人件費】

指定管理料の **75%** が人件費です。

「地域の拠点」としての児童館を作るには、『**人**』が最も重要です。

「**顔が見える**」「**いつもの人がいる**」このことを大事にしていくためにも、長く職員には勤めて頂かなければなりません。

そのためにも人件費について手厚く保障していきたいと思えます。

### 【管理費】

下記に列挙する業務に関しては、専門的な業務であることから業務委託になります。3社見積もり及び2館委託を実施することで、管理費の縮減に努めます。

機械警備	消防設備保守点検	非常通報装置保守点検	衛生害虫駆除
一般廃棄物・産業廃棄物処理	自家用電気工作物点検	自動ドア保守点検	空調機器保守点検

但し、施設清掃や植栽管理、空調機器の清掃など日常的な業務として職員が行い、業務の効率化を図ります。

### 【事業費】

地域の団体や当団体が持つネットワークの方たち(まちづくり協議会・婦人会・さんさんクラブ・子ども食堂など:添付資料2、6)と協力しながら、子どもたちと地域の大人との交流をし、地域での見守りを強化していきます。また、職員が保持している資格を活用し講師となることで、スキルアップ、モチベーションアップにもなり、経費縮減にもつながります。さらに、自主事業については、助成金を取得しながら事業を行っていきます。

〈職員が保持している資格の種類(抜粋)〉

保育士	幼稚園教諭	小学校教諭
図書館司書	児童厚生員2級	防災士

◆危機管理対策:感染症対策の徹底 ◆緊急時の相談窓口設置 ◆災害時のメンタルヘルスケア

新型コロナウイルス感染症が全国で広まり、新しい生活様式への転換を求められている中、児童センターの役割も少しずつ形を変えていきます。

イベント等が中止や縮小される中、少しでも子どもたちや子育て中の保護者の心の健康を保つためにも、3密を避け、検温や消毒、マスクの着用を徹底した中で活動を続けていきたいと思えます。また、学校が休校になったり、児童センターが閉館になった場合、普段対面で子どもたちの様子を見たり保護者の相談を受けていたことができなくなってしまうため、そういった緊急事態が起こった際のメンタルヘルスケアのために臨時の相談窓口の設置等(電話やメールでの相談受付)を行い、必要に応じて専門機関へつなぎます。さらに、こういう時だからこそ「文化・芸術」の力を駆使して、子どもたちや保護者の癒しの場となるよう新しい提案をしていきたいと思えます。

以上、よろしくお願いいたします。